

陳 情

飲料水兼用耐震性貯水槽の設置について

(願 意)

飲料水は、各家庭で準備することが前提となっておりますが、現在、国は自治体に対して当該設備購入する場合、設置費用を含み全費用の50%を補助する制度があります。

つきましては、船橋市内の人口比を考慮して、市内の公園、避難所等々に設置していただきたい。

(理 由)

1. 災害時、最も一番困ることは「トイレ問題（別紙①）」ですが、災害用マンホールの解説（船橋市公式ホームページ参照）によると何千人の住民が使える状態でないことは解かります。
2. しかし、現在は「簡易トイレ（凝固剤付きポリ袋）」を利用すれば「可燃ゴミ」として処理でき、市広報誌等でこのことが広報されていることを読んだことはありません。
3. 次に困る飲料水は、船橋市には別紙②のとおり、公園が435ヶ所ありますし、国の補助金制度があるので、予算が無い理由だけで片付ける問題ではありません。 以上